鹿児島大学発シーズの社会実装を目指すイノベーター集合in日本橋 (2023/11/27)

傷を早くきれいに治すキトサンヒドロゲル

鹿児島大学 武井孝行 (iCUREX株式会社 代表取締役)

シーズ

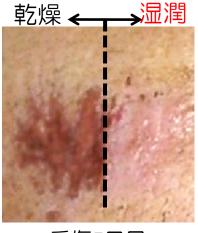
創傷とは?→"傷"を表す医学用語

創傷の治療法

- 乾燥療法(従来法)創傷部を乾燥させる
- ・ 温潤療法(モイストヒーリング) 創傷部を湿潤状態に保つ 乾燥療法よりも治癒が早い







受傷5日目

創傷被覆材

創傷部に湿潤環境を提供するもの

既存の医療用創傷被覆材

- ・フィルム型
- ・フォーム型
- ハイドロコロイド型
- ヒドロゲル型



ヒドロゲル型創傷被覆材

特徴

創傷面に湿潤環境を提供できる

キトサン

特徴

- 抗菌作用
- 止血作用
- 創傷治癒促進作用

$$\begin{bmatrix} CH_2OH & CH_2OH \\ OH & O \\ OH & O \\ N-H \\ C=O \\ CH_3 & n \end{bmatrix}$$

	湿潤環境保持能	材料自体の 治癒促進効果
ヒドロゲル型創傷被覆材	0	×
キトサン創傷被覆材(乾燥体)	×	0
キトサンヒドロゲル創傷被覆材	0	0

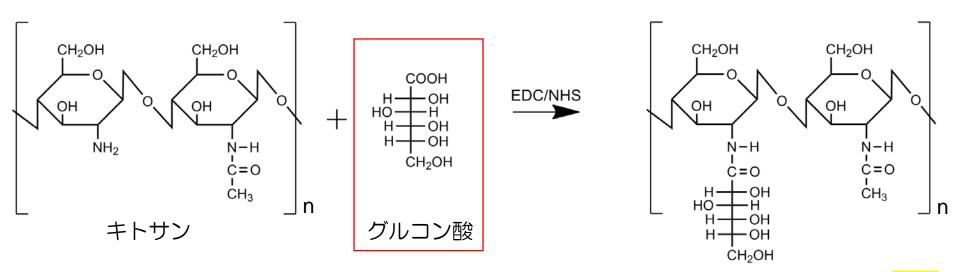
キトサン

既報のキトサンゲル調製法の問題点

- 1. ゲルのpHは酸性
- 2. 生体に有毒な添加物(化学架橋剤など)が ゲル内に残存している

医療に使用する場合には改善が必要

キトサン誘導体の作製



グルコン酸修飾キトサン<mark>(CG)</mark>

図. キトサンへのグルコン酸の修飾反応.

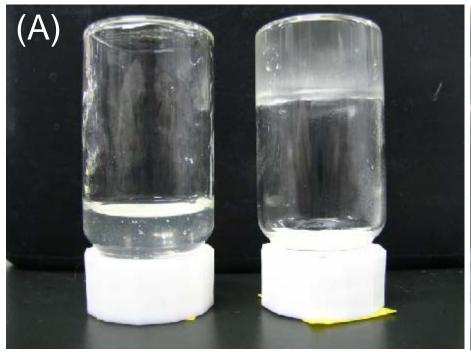
キトサンゲルの調製

CG濃度: 1% (w/v) (pH7.0)

凍結温度:-30°C (12時間)

融解温度:20°C (2時間)

処理前 処理後



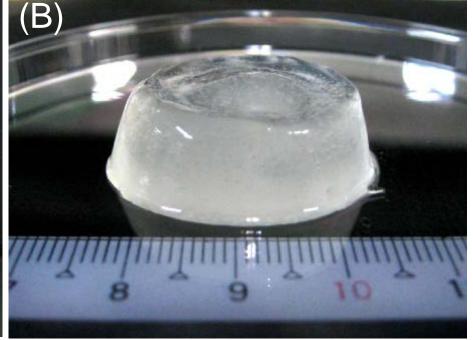


図. CG水溶液の凍結-融解前後の写真

凍結-融解処理により中性のゲルが得られた

創傷治癒効果の検証(動物実験)



雄性 Wistarラット(6週齢)背部に3つの皮膚全層欠損創(直径1cm)を作製し、創傷被覆材で覆った

実験条件

- 医療用創傷被覆材1
- 医療用創傷被覆材2
- CGゲル

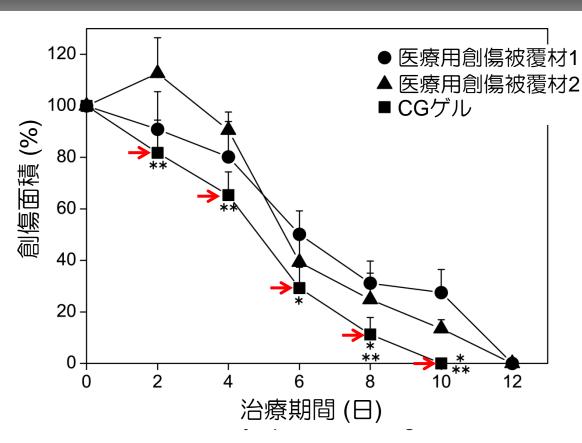


図. CGゲルの創傷治療効果 (n = 5~7).

CGゲルは他の創傷被覆材よりも 傷の治癒を促進できた

知財

• 知財の出願状況:

1. 特許5907489号(2012年出願)

名称:キトサン誘導体から得られるヒドロゲル

内容:生体安全性が高く、創傷治癒能力の高いキトサンヒドロゲル作製法

2. PCT/JP2023/006946(2023年出願) 名称 : 医療用ヒドロゲルの調製方法

内容:1のゲル作製と滅菌(オートクレーブ)を同時に達成できる新手法

3. 特願2023-132965(2023年出願) 名称: 体腔損傷治療用ヒドロゲル

内容:1と2のゲルの狭小部位の創傷治療への適用



注射器で注入可能なキトサンゲル微粒子

ニーズ:慢性副鼻腔炎(蓄膿症)の治療

症状:鼻閉や悪臭鼻汁、頭痛、

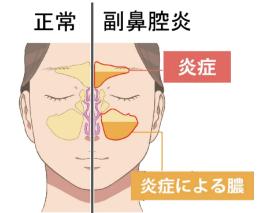
嗅覚の低下

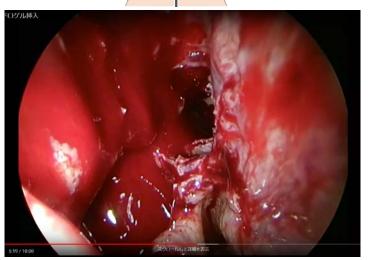
患者数:100-200万人

手術件数:2万件/年



鼻腔内を削って通気を良くする





日本医科大学多摩永山病院 細矢 慶 医師より提供

手術後の創傷の治癒促進が重要

共同研究の状況

- 1. 鹿児島大学医学部耳鼻咽喉科 山下 勝 教授
- 2. 日本医科大学多摩永山病院 松根 彰志 教授、細矢 慶 病院講師

ニーズ:慢性副鼻腔炎(蓄膿症)の治療

【使用される被覆材】

- ・シート状
- ・スポンジ状

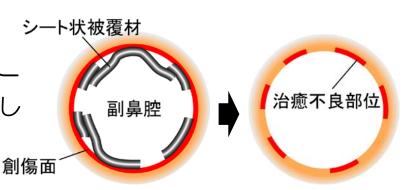
鼻腔内への適用を考慮して 開発されたものではない



シート状

【問題点】

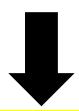
- 手間が大きい (曲げて挿入したり(シート状)、細断して小さくしたものを1つずつ挿入しなければならない(スポンジ状))
 - 治癒にムラが生じる



ニーズ:慢性副鼻腔炎(蓄膿症)の治療

●臨床現場から求められる被覆材

- (1)注射器を使って副鼻腔に簡便に注入できる
- (2) 創傷面と被覆材の間の隙間をなくすために、鼻腔内に充填できる
- (3)止血効果が高い
- (4) 抗菌効果が高い
- (5) 創傷治癒促進効果が高い



上記ニーズを満足する開発物:キトサンからなるゲル微粒子状の創傷被覆材

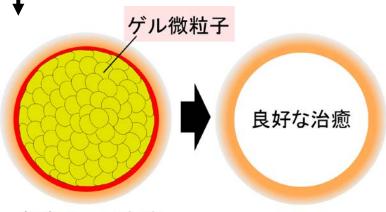
(3)(4)(5)

(1)(2)(5)





注射器で注入可能なキトサン ゲル微粒子



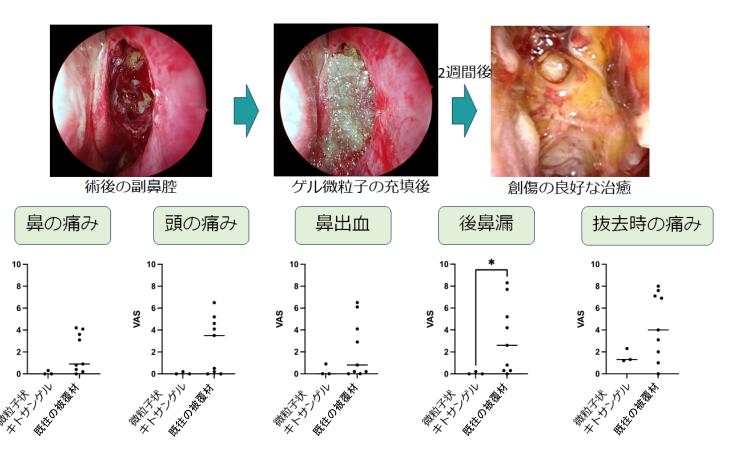
鼻腔内への充填



治療成績が術者の技術に 依存しなくなる

臨床研究

※日本医科大学多摩永山病院倫理委員会の承認を得て実施



(上段) 副鼻腔炎手術後の副鼻腔へのキトサン微粒子ゲルの注入・充填と 創傷の治癒. (下段) 患者の自覚症状(値が低いほど良好).

慢性副鼻腔炎手術後の創傷治療用被覆材としての上市を目指す

アクションプラン・マイルストーン

株式会社設立

資金調達

製品開発ライフサイクル

QMS体制の構築

規制への対応

薬事申請(PMDA)

業許可(県薬務課)

他組織とのコラボ

アライアンス(総販売元)

セールス・マーケティング